



<第 169 回 ほほえみの会 2009 年度総会>

坂口医師や認定看護師の加藤さんをはじめ 15 名が参加しました。

- ・ 2008 年度の活動報告、会計報告
- ・ 役員改選 昨年度役員に加えて渡井さんが引き受けてくださいました

<講演 1> 「子どものための療育環境」  
 ～チャイルドライフスペシャリストの視点から～  
 桑原和代さん

元こども病院の看護師で 2 年間アメリカでチャイルドライフ  
 スペシャリスト (CLS) の勉強をして資格を取られた桑原  
 さんがお話をしてくださいました。

- ・ チャイルドライフスペシャリストとは「ストレスがかかる子どもと家族に精神的負担の軽減をサポートする」
- ・ 具体的には遊びや子どものための療育環境、処置や検査の援助、家族兄弟の支援、医療スタッフとの信頼関係の構築などを行なう。病院での子どもは不安で、ストレスレベルは高く、何に対しても怖い、痛いと感じる
- ・ 子どもは親の気持ちを察するので、落ち着いて、いつものお父さん、お母さんでいてほしい。そのためにはお父さんお母さんも息抜きが必要。
- ・ 治療を医療者に任せないで家族中心の医療にすべきで、家族がケアに参加しやすい環境を作ることが必要。

<講演 2> 「化学治療中の脱毛と頭皮ケアについて」  
 スヴェンソン 服部哲也さん

かつらメーカーの服部さんが頭皮と髪の毛について  
 お話をしてくださいました。

- ・ 髪の毛は誰も 10 万本ほどあり、毎日 50 本から 100 本抜けている。頭に生えている期間は 7 年間で、1 ヶ月に 1 センチずつ伸びている。成長が止まった毛は 4 ヶ月後に抜ける。

- ・ 頭皮マッサージは顔の肌のリフティングにもなる。
- ・ シャンプーは毎日する。シャワーで 2 分間流せば 7 割の汚れは落ちる。シャンプーは手で泡立ててから洗う。泡が弾けるときに汚れが落ちるので、原液を頭にかけても意味がない。
- ・ 頭皮を手でこするのではなく頭の皮を動かすように洗う
- ・ 朝は髪の毛が成長をしている時間帯で、毛穴も開いているのでシャンプー剤が毛穴に入りやすく残留しやすい。朝シャンは良くない。
- ・ 治療中は髪がなくても洗うのかと聞かれるが、頭皮の皮脂を洗うのでシャンプーはして良く乾かすことが大事。ただ、子どもの皮脂は少ない。
- ・ 髪の毛にはバランスの良い食事が大事。一番良くないのはコンビニで売られている白いご飯、20~30 種類の食品添加物が入っているのであるべく食べないほうがいい。

<会員近況> 参加者の子どもの状況報告や悩みも話し合われました

- ・ フォローアップ外来を受診したいが 2 月に 8 月の予約が一杯になっている。夏休み期間中だけでも受診日を増やしてほしい。この件については複数の方から話しが出ました。
- ・ これに対して、坂口医師からは、フォローアップは多くの科が関わるので時間をとるのが難しい。しかし、病院内の会議でも回数について検討をしている。また加藤ナースからは看護師の面談も受けているが悩みが多岐に渡って幅広く、一人に時間が多くかかる。回数については前向きに考えたい。というお話しがありました。
- ・ また、夏になって小学校でプールに入る期間が増えたが、子どものおなかの手術跡をみんなに聞かれる。それが辛いと家で泣いている。学校の先生に相談したら、皆の前で話しをしてくれたのは良いが、今度は他のクラスの子どものにも傷のことを言われるようになった。傷は形成で治ると話をすると本人は治さないでいいという。
- ・ 傷については、病気を克服した出席者からも発言がありました。小さい時の傷は本人は気にしない。親が申し訳ないとか、不安な顔はしないでほしい。子どもの前では笑っていてほしいという話がありました。また、傷を治すと自分の人生が否定される気がする。傷は不運だけど、決して不幸なことではない。親は強くいてほしいし、子どもも跳ね返す力を持ってほしい。という体験談もありました。

次回 は 8 月 9 日(日) 11 時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mail アドレス k\_likeda@yahoo.co.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/hohoeminokai/>